

先進都市視察について

日程	行き先	人口 (2019.11.1時点)
10月23日(水)	福岡県北九州市	約94.0万人
10月24日(木)	山口県宇部市	約16.4万人
10月25日(金)	福岡県福岡市	約158.2万人

福岡県北九州市

北九州市のステータス



- 人口は約94.0万人と九州第2の都市
 - 我が国の四大工業地帯の一つである北九州工業地帯を形成する、国内有数の工業都市
-

- 重厚長大産業の衰退に伴い、人口流出(首都圏、福岡市等へ)が進む
- **まちの活性化の手段として「創業促進」を掲げ、創業者のスケールに応じた支援体制を整備**
- **九州工業大学、北九州高専等と連携し、学生向けベンチャースクールの開催**

創業・スタートアップシーン

① スモールビジネスで挑戦する方

- ・主 体：個人
- ・業 種：商業・サービス（飲食、小売等）
- ・地 域：市全域（点在）
- ・支援機関：北九州産業学術推進機構(FAIS)中小企業支援センター、
商工会議所、金融機関、(一社)まちはチームだ、市、県、国等

② 産学連携で挑戦する方

- ・主 体：研究者(企業・大学)、エンジニア、学生
- ・業 種：製造業その他（学術研究、専門・技術サービス等）
- ・地 域：学研都市(若松区)、九工大(戸畑区)、北九州高専(小倉南区)
- ・支援機関：大学、高専、FAIS、金融機関、市、県、国等

③ スケール等を目指す新たな起業家

- ・主 体：スタートアップ、ベンチャー、学生
- ・業 種：あらゆる業種（情報通信～各種サービス業中心）
- ・地 域：市全域（都心部のコワーキングスペース等）
- ・支援機関：金融機関、市、県、国等



スタートアップとは

単に創業間もない企業やベンチャー企業とは違い、自ら市場を切り開く、新たに需要を生み出していくといった、「イノベーション」を元に大きな成長を続けていくことのできる会社形態のことをいう。

コンパス小倉を中心とした創業支援体制



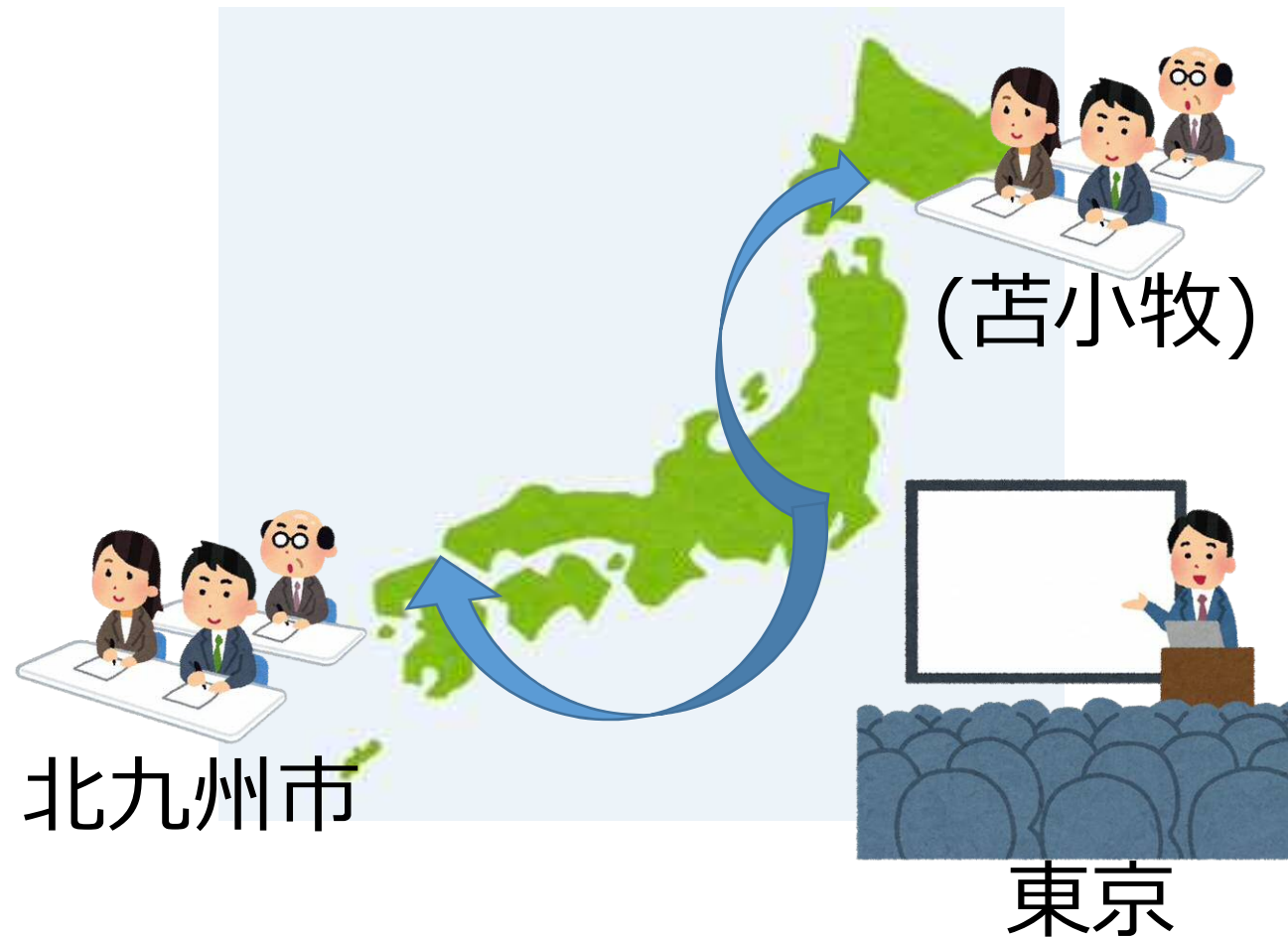
コンパス小倉フロアマップ

全てのエリアでIT環境が整備されている



一般オフィスエリア入居企業からスモールオフィスエリア入居企業への業務発注など
入居者間のコミュニケーションを促進する仕組み作り

Fabbitを通じた創業支援ネットワーク



- 東京における最先端情報をリアルタイムで中継
- 北九州から全国拠点に情報発信可能

山口県宇部市

宇部市のステータス、方針など



- 人口は約16.4万人
 - 宇部興産(株)を中心とした重化学工業を基幹産業とする、企業城下町
 - 港湾、空港があり交通の便が良い
-

- **市では次世代の地域産業育成のため**
 - ・「新事業の創出」
 - ・「ICT技術の活用」
 - ・「地域イノベーションの推進」**をテーマに掲げる**

「宇部スタートアップ」を中心とした創業支援体制



○ 2018年7月に
「うべスタートアップ」をまちなかに
オープン

○ 山口銀行系のコンサル会社に運営委託

○ **創業や経営改善に関するワンストップ
サービスを実施**

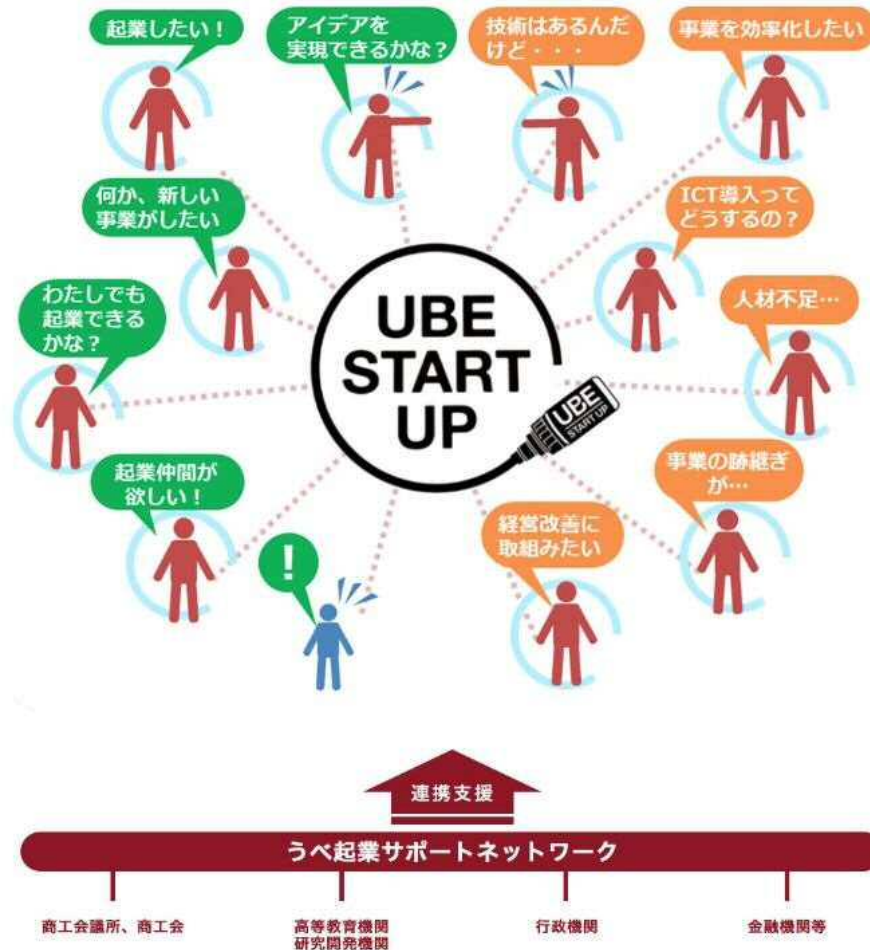
○ 山口大学、宇部高専と連携した創業促進
→ビジネスプランコンテストの開催等



宇部スタートアップの実績

関連機関と連携したサポート

起業・創業を応援！経営改善を支援します！



<平成30年度運営実績>

- ・ 総来場者数：2,476人
- ・ 相談件数：152件(うち創業は115件)
- ・ **セミナー開催：76回(参加1,129人)**
- ・ 会員登録：123人(コワーキング利用、図書借入可、メルマガ受信など)
- ・ 起業実現：8人(判明分のみ)



【宇部ラーメン】
香りの強い豚骨がベース
宇部のソウルフード

【庵野秀明氏】
社会現象となったアニメ
「新世紀エヴァンゲリオン」
で有名な監督の出身地



福岡県福岡市

福岡市のステータス



○ 人口は約158.2万人と九州最大の都市

○ JR博多駅→福岡空港まで地下鉄で約5分というアクセスの良さ

<成長を続ける都市、福岡>

- ・ 人口増加数→政令指定都市でトップ
- ・ 開業率→政令指定都市でトップ
- ・ 市税収入→現在まで6年連続過去最高を更新中

福岡市の創業支援体制

福岡市長のトップダウンにより、
2012年にスタートアップ都市ふくおかを宣言
創業支援の取組が開始された

■ **スタートアップが雇用を創出！**

新しい会社が次々に生まれ、
今ある会社が新しい事業にチャレンジ

↓

市民生活を豊かにする新しい価値、
サービスや雇用を創出

創業年数	事業所数	雇用創出
創業4年以上	91.5% (440万事業所)	62.4% (約618万人の雇用)
創業3年以下	8.5% (411万事業所)	37.6% (約371万人の雇用)

出典) 2011年 中小企業白書により福岡市作成

■ **元気なまち福岡市をスタートアップの拠点に！**

Startup 0	平成24年	スタートアップ都市ふくおか宣言 国家戦略特区提案募集
	平成25年	産官学民で組織された福岡地域戦略推進協議会（FDC）と共同で特区提案 スタートアップ都市推進協議会設立
Startup 1.0	平成26年	国家戦略特区「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」の指定
Startup 2.0	平成29年	「Fukuoka Growth Next」がオープン
	平成31年	「Fukuoka Growth Next」リニューアルオープン

2 スタートアップの取組みを**特区**で加速！ 「スタートアップカフェ」(H26.10月開設)

○ 国より「グローバル創業・雇用創出特区」に指定

○ これにより、大胆な規制緩和や改革が可能となる

- ・ ドローン等最先端技術の実証実験の提供
- ・ スタートアップビザの発行による外国人への創業支援
- ・ スタートアップ法人減税他多数

フクオカ グロース ネクストの開設

Fukuoka Growth Nextができるまで



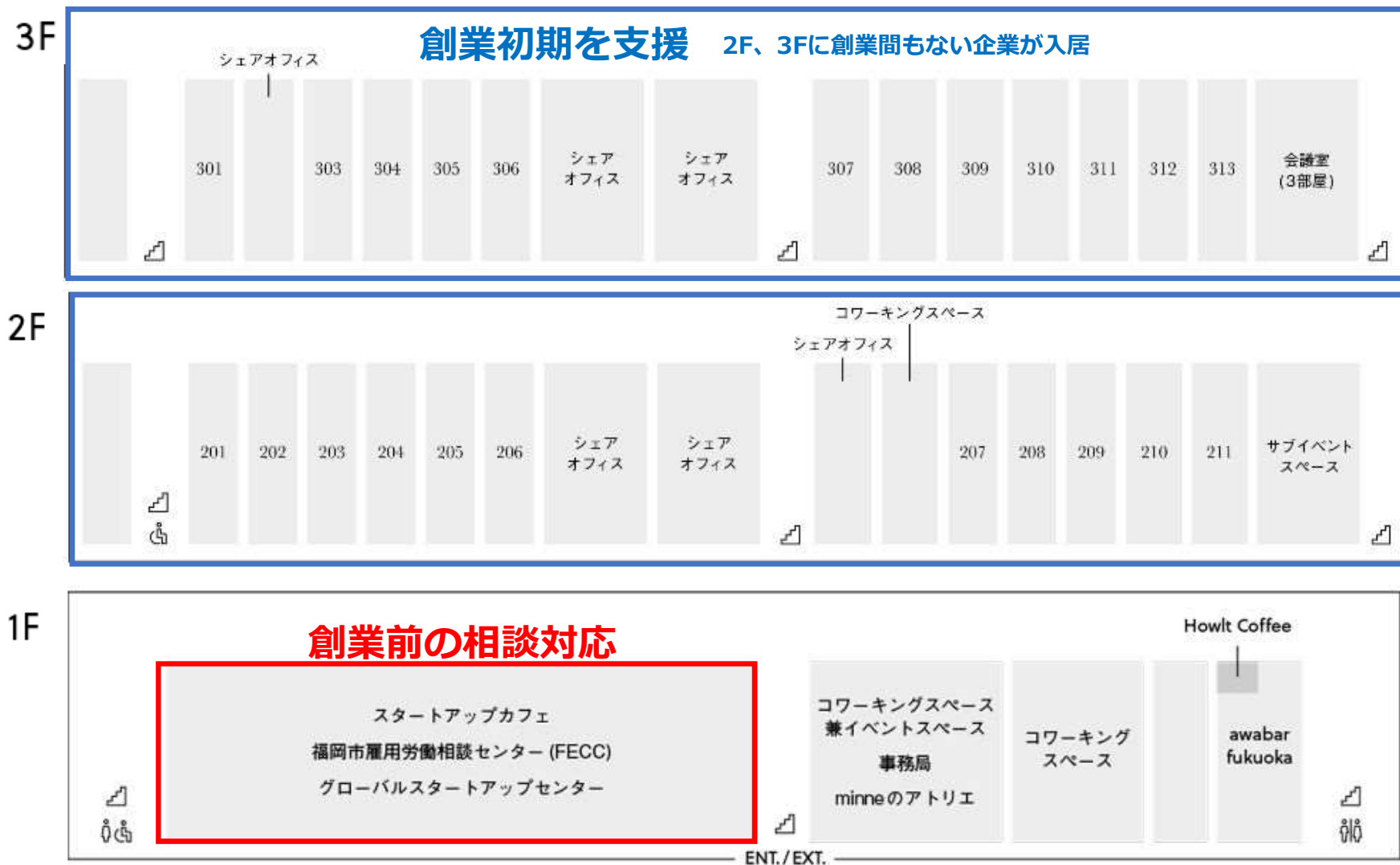
2017年4月12日 福岡市内3か所（香椎照葉、博多駅前、百道浜）に点在していたインキュベート施設及びスタートアップカフェを1か所に集約

- **福岡市の創業施設を3箇所→1箇所に集約**
(市の中心部にある旧天神小学校を改修し利用)
- これにより「創業者」「支援者」が集約され、【オール福岡市】の支援体制が整う

創業支援拠点を集約することで支援する側、される側双方の集まる場所が明確化し、支援の効率が大幅に向上

FUKUOKA GROWTH NEXT フロアマップ

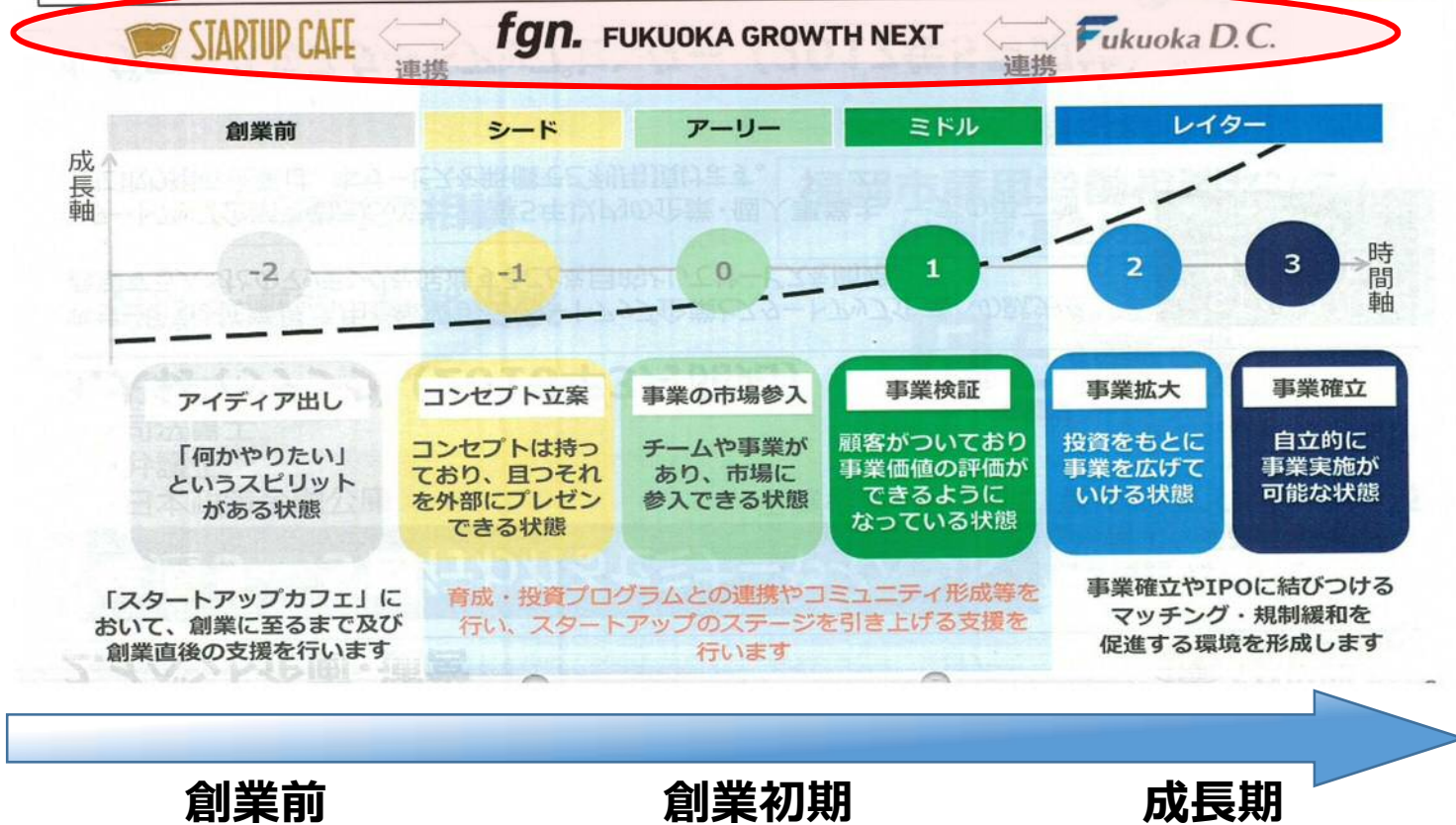
起業相談から創業、成長まで企業活動の集積施設として機能



段階に応じた支援体制の整備

本施設の方角性

本施設では、スタートアップカフェや行政、産業界との連携を行い、創業前からレイターまで各ステージを一気通貫で支援できる場を目指します。特に、シード～ミドルステージのスタートアップを対象としたプログラムを実施するとともに、各種コミュニティの形成を行います。



創業者の状況に合わせた支援体制が確立

ミッション・ビジョン

VISION

「未来のユニコーン企業」を100社生み出す！

ユニコーン企業を生むために、まず企業価値10億円程度のスタートアップを福岡市に100社創出

MISSION

- 「スタートアップ企業」や「中小企業の第二創業」へ支援を行うことを通じて、雇用創出や地域経済の発展に貢献。
- 独自のスタートアップ支援システムによって、企業が「新たな価値を生み出すこと」「グローバルマーケットへチャレンジすること」を支援。

民間事業者と連携して様々な取組が行われている



傘のシェアリングサービス
アイカサ
(株)Nature Innovation Group



モバイルバッテリーの
シェアリングサービス
Charge Spot
株式会社INFORICH



自転車のシェアリングサービス
メルチャリ
neuet株式会社



LINEを利用した転入者向け
引っ越し案内サービス
福岡市引っ越し・証明案内



世界初のミドリムシ由来の
バイオ燃料による公道走行
ユーグレナ株式会社

苫小牧市・宇部市産業構造比較

苫小牧市 人口173,272人 (2016年)

業種別市内生産額 (2016年)

出典: RESAS



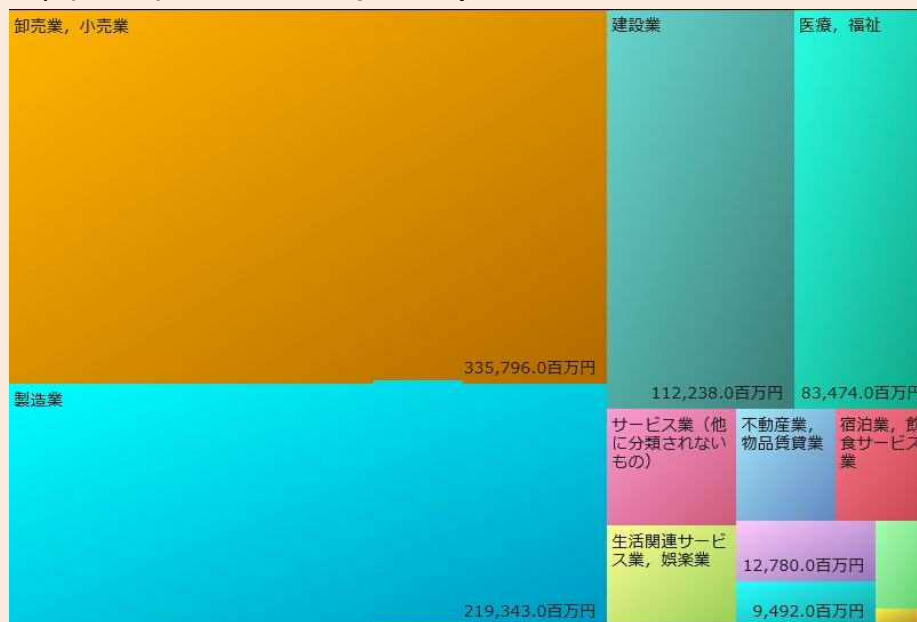
売上高1,055,443百万円



宇部市 人口168,804人 (2016年)

業種別市内生産額 (2016)

出典: RESAS



売上高916,500百万円



起業が雇用に与える影響

※中小企業白書(2018年)抜粋

設立年度別従業者の変化を
みると

1984年以前に設立

▲258万人

1985年から1994年設立

▲6万人

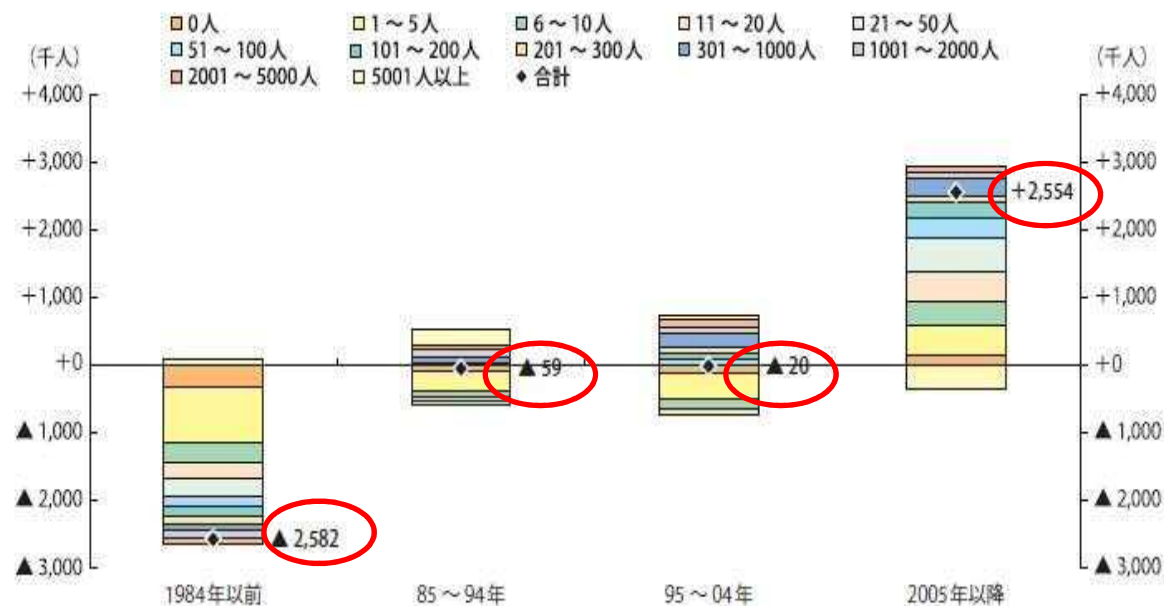
1995年から2004年設立

▲2万人

2005年以降に設立

+255万人

設立年別従業者数の変化(2009年→2014年、中小企業、大企業)



資料：総務省「平成21年、26年経済センサス-基礎調査」再編加工

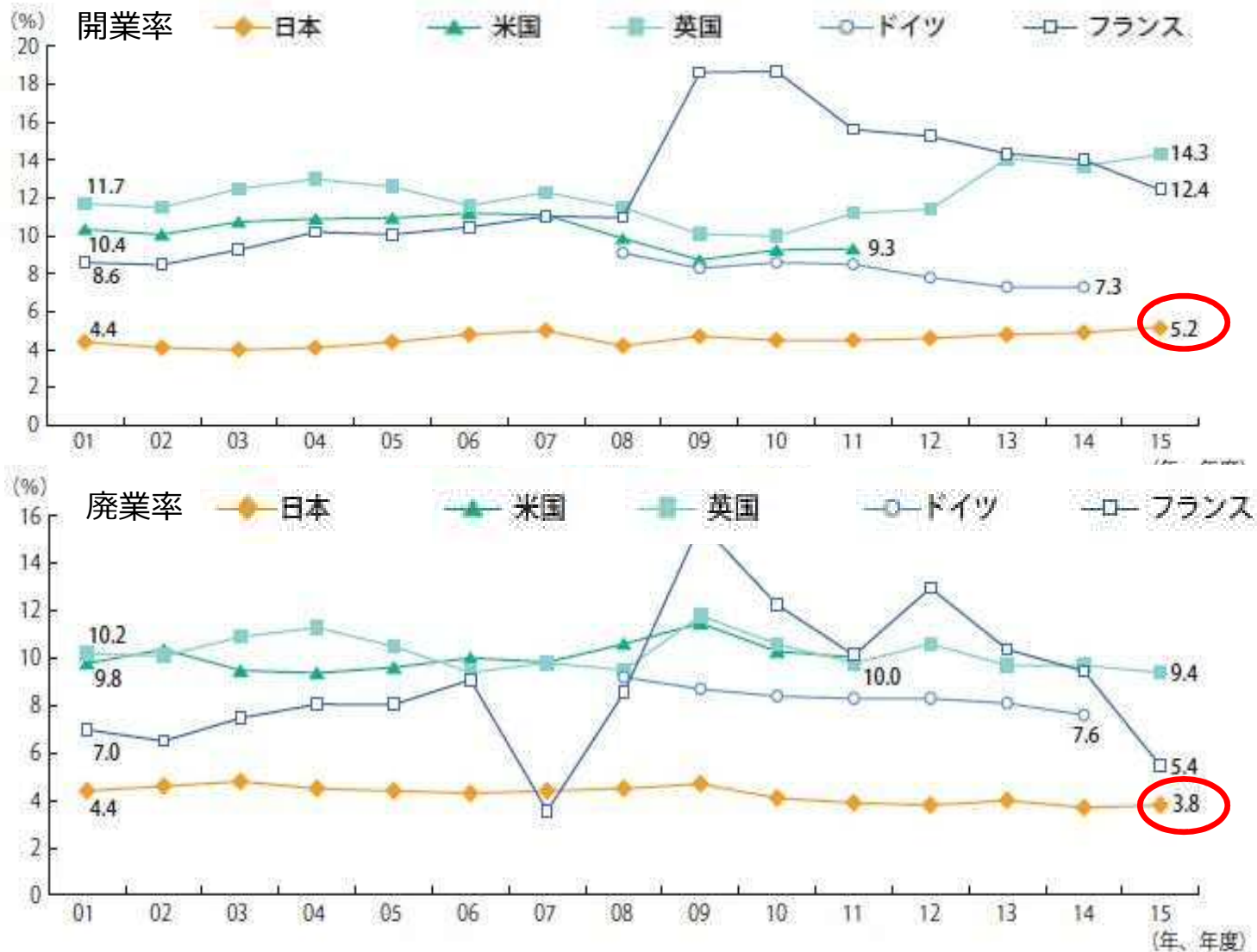
(注) 経済センサスにおける事業所開設時期とは、会社や企業の創業時期ではなく、当該事業所が現在の場所で事業を始めた時期をいう。ここでの設立年は、経済センサスの調査対象事業者の事業所のうち、最も古い事業所の開設時期を企業の設立年とみなして集計している。

業歴の浅い企業が多く雇用の創出

開業率、廃業率の国際比較

日本は少産少死の起業傾向

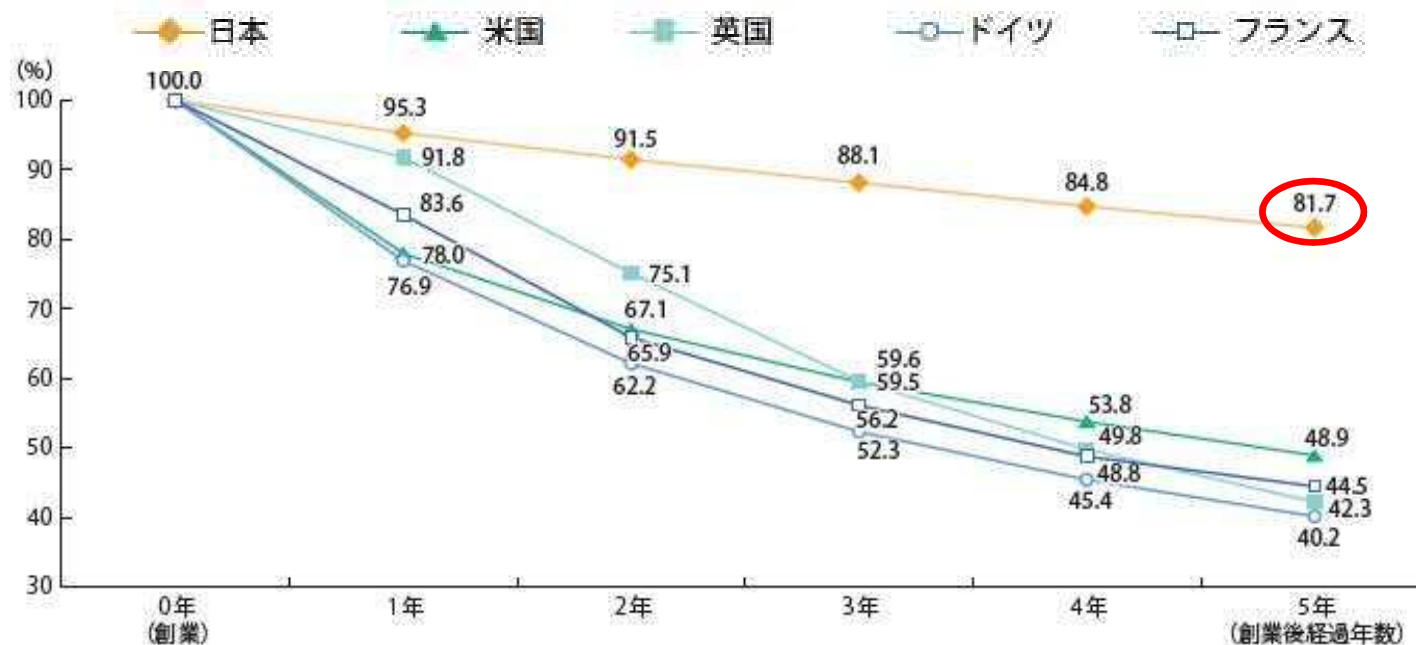
出典：2017年中小企業白書



起業後の企業生存率の国際比較

コラム2-1-2②図 起業後の企業生存率の国際比較

出典：2017年中小企業白書



資料：日本：(株)帝国データバンク「COSMOS2 (企業概要ファイル)」再編加工

米国、ドイツ、フランス：Eurostat

英国：Office for National Statistics

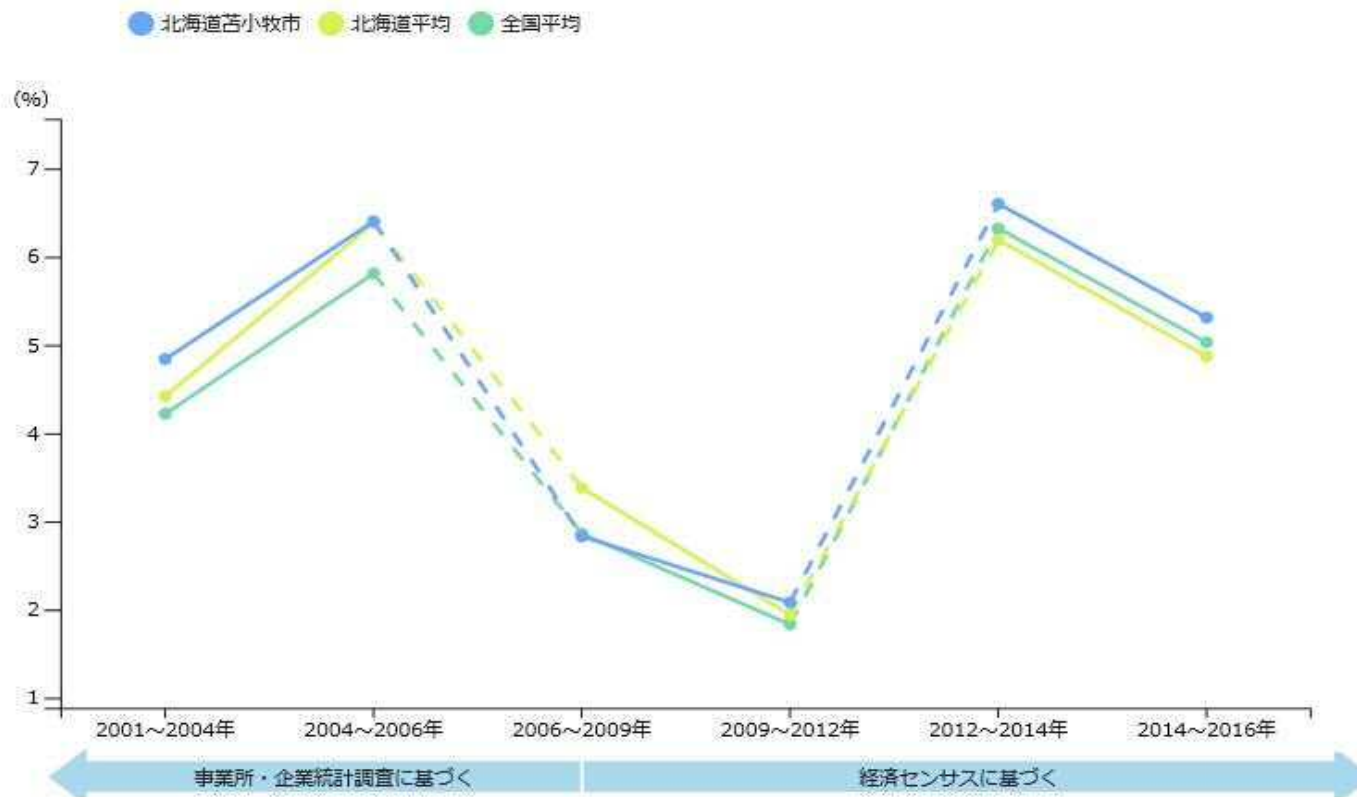
(注)1. 日本の企業生存率はデータベースに企業情報が収録されている企業のみで集計している。また、データベース収録までに一定の時間を要するため、実際の生存率よりも高めに算出されている可能性がある。

2. 米国、英国、ドイツ、フランスの企業生存率は、2007年から2013年に起業した企業について平均値をとったものである。

日本は起業率は低いが、起業後の生存率は高い

苫小牧市の創業比率

創業比率



【出典】

総務省「事業所・企業統計調査」、総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

【注記】

「平成21年経済センサス-基礎調査」及び「平成24年経済センサス-活動調査」では、新設事業所の定義が異なるため、「2006-2009年」及び「2009-2012年」の創業比率は、前後の数字と単純に比較できない。

【その他の留意点】+

本市においても全国と同様の傾向がみられる

国も創業機運醸成を重要視している

- 我が国は国際的に見て開業率が低く、起業に無関心な人の割合が高いが、起業を目指す人が起業に至る確度は高い。
- いかに起業への関心を高めていくかが重要。周囲の勧め等が重要なきっかけとなる。

図1 開業率の国際比較

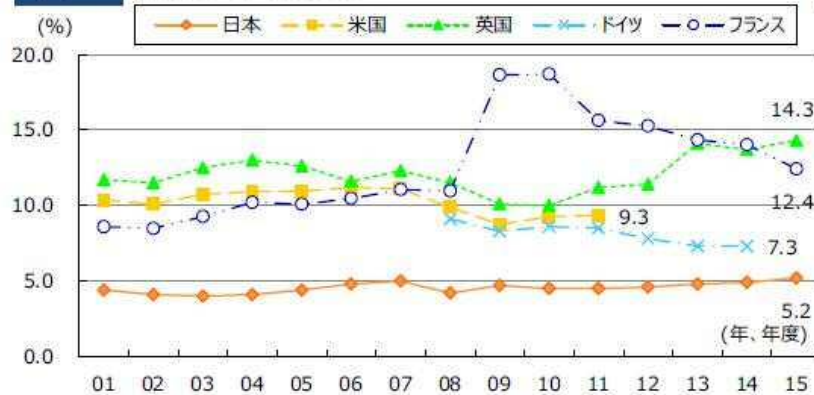


図2 起業に無関心な人の割合(国際比較)

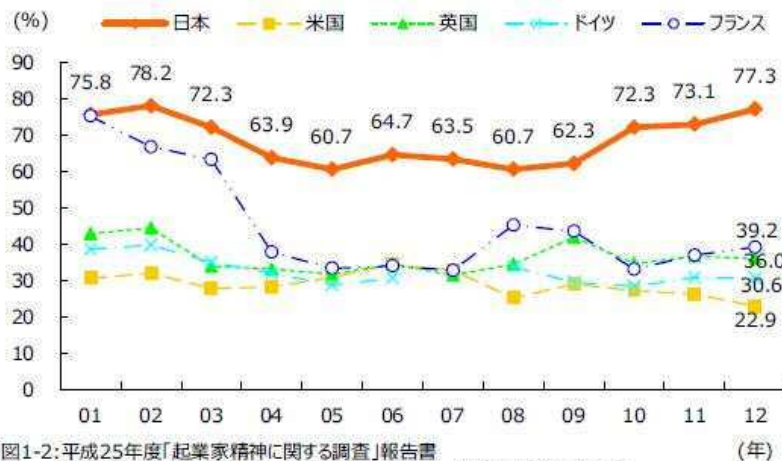


図1-2:平成25年度「起業家精神に関する調査」報告書
(平成26年3月(財)ベンチャーエンタープライズセンター)から中小企業庁作成

図3 起業に関心を持った人が起業準備、起業に至る割合(国際比較)

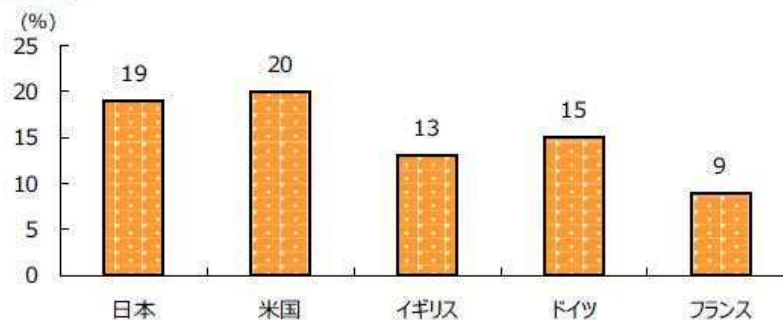


図3:「起業活動に影響を与える要因の国際比較分析」
(平成24年3月 独立行政法人経済産業研究所)から中小企業庁作成

図4 起業家が起業に関心を持ったきっかけ

周囲の勧めや周囲の企業家の存在が重要なきっかけに

		第1位	第2位	第3位
40代以下	男性 (n=961)	周囲の起業家・経営者の影響 (40.7%)	勤務先ではやりたいことができなかった(29.2%)	勤務先の先行き不安・待遇悪化(27.5%)
	女性 (n=75)	周囲に勧められた (33.3%)	家庭環境の変化(結婚・出産等)(25.3%)	周囲の起業家・経営者の影響(22.7%)
50代	男性 (n=809)	勤務先の先行き不安・待遇悪化(35.7%)	勤務先ではやりたいことができなかった(28.4%)	周囲の起業家・経営者の影響(27.3%)
	女性 (n=107)	周囲に勧められた (37.4%)	家庭環境の変化(結婚・出産等)(29.0%)	勤務先ではやりたいことができなかった(23.4%)
60代以上	男性 (n=949)	周囲の起業家・経営者の影響 (25.2%)	周囲に勧められた (21.9%)	勤務先の先行き不安・待遇悪化(21.7%)
	女性 (n=99)	勤務先ではやりたいことができなかった(30.3%)	周囲に勧められた (26.3%)	事業に活かせる免許・資格の取得(24.2%)

図4:中小企業庁委託「起業・創業の実態に関する調査」(2016年11月)から中小企業庁作成
(注)1.起業を実現した起業家が起業に関心をもったきっかけに
2.複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。 出典:2017年中小企業白書

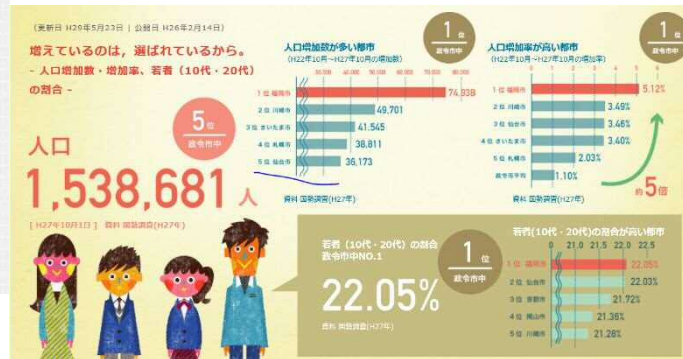
起業支援成功都市の数字実績

福岡県福岡市の成果

スタートアップ都市ふくおかを宣言して以降**市内経済指標が向上**



企業進出6年連続50社突破



若者の人口流入政令指定市No.1



オフィスビル空室率の低下

日本経済新聞

福岡市の税収3千億円に 人口増で6年連続過去最高

2019/7/12 19:45

福岡市は2018年度の市税収入が17年度比13%増の3325億円の見通しになったと発表された。6年連続で過去最高を更新し、3千億円台は初めて。地方税法の改正で県からの財源移譲があり、人口増も加わって個人市民税が3%増の1244億円と大幅に伸びた。

法人市民税も10%増の449億円だった。インバウンド（訪日外国人）の増加を追い風にサービス業を中心に業績が上向いた。固定資産税・都市計画税は3%増の1410億円。課税額に対する納付額の割合は9年連続で向上し98.7%と3年連続で過去最高を更新した。

市税収入は**6年連続過去最高を更新中**

コワーキングスペースとは

コワーキング (Co-working)

個人事業者や起業家、在宅勤務が許可されている**場所の縛りがない環境で働いている人**会社員、

ノマドワーカーといったように、たちによる働き方

コワーキングは独立して働きつつも価値観を共有する参加者同士のグループ内で社交や懇親が図ることが出来る働き方であり、コスト削減や利便性といったメリットだけでなく、

才能あるほかの分野の人たちと刺激しあい仕事上での相乗効果が期待できる働き方である。

コワーキングスペース

個室のような区切られた空間ではなくフリーアドレスの机、パソコン用の電源、Wifi環境等を備えたオープンスペースになっている。また、すべてのスペースを共有したり、イベントを行ったりといった試みを通して参加者同士のコミュニティ育成を重要視する。



コワーキングスペースは創業の土壌作りにあたり、情報の交換場所ともなる
また、近年注目されている**職場外就労**にも対応することができる。

視察都市のコワーキング施設運営体制について

自治体	施設名	運営形態	委託先
福岡県福岡市	スタートアップカフェ福岡	業務委託	CCC (カルチュア・コンビニエンス・クラブ)
福岡県北九州市	COMPASS小倉	指定管理	fabbit (アパマングループ)
山口県宇部市	うべスタートアップ	業務委託	MFGZONE ^o ランニング (山口銀行グループ)

共通するのは、運営はノウハウを持つ民間事業者へ委託している点、
 3市ともに**創業支援に特化した部署**を作り、市の担当者が施設に足しげく通うなど
民間との強固な連携を図っていたことである
 民間のノウハウを活用することで地方都市にありながら、
 先端の情報に触れることが可能となる
 そのため**民間企業との連携**が重要



まとめ

調査を通じて、創業支援の手法はコワーキング施設を起点とした民間活力を活用した手法があることがわかった



先進都市の方法をそのまま取り入れてもうまくいかないため、
本市が有する地域資源と組みあわせた創業支援策の検討を行ってまいりたい